

藻場・種苗放流の適地調査


しませんか？

水産事務所・海洋センターでは

沿岸域の藻場調査

アワビ・サザエの種苗放流の適地調査を承ります

 近年、府内沿岸域は藻場が衰退・消失する
「磯焼け」の初期段階と思われる漁場が見られます

 磯焼けが広がるとアワビ・サザエのすみかが失われ、
資源量の減少、放流した種苗の生残率低下の恐れが
あります

このような地区はぜひご相談ください

- ✓ 昔と比べると藻場が減った
- ✓ 藻場がなくなり、漁場が狭くなった
- ✓ 種苗放流している漁場が適切かわからない



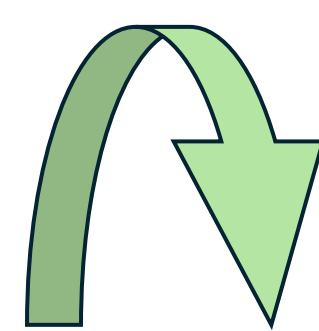
お問い合わせ先

京都府水産事務所 海のにぎわい企画課 担当:淵

TEL : 0772-25-3079

E-Mail : h-fuchi22@pref.kyoto.lg.jp

昨年度
実績は
裏面へ



R7年度の実績例（伊根町泊地区）

- ✓ 泊地区の12地点で、種苗放流の適地調査を実施
- ✓ 調査後、漁業者へ調査結果・種苗放流の手法をフィードバック

調査



フィードバック



サザエ種苗放流の手引き

平成30年4月
京都府農林技術センター海洋センター
～放流の手引きに従って、ていねいな種苗放流をおこないましょう！～

放流場所

- ◎ 水深50cm程度の軟底層（フコウソクストロ）
- ◎ 波の影響を受けにくい静穏な海域（港湾内や内湾域など）
- ◎ 稚貝は付着力が弱いため、波によって生息場より高い場所へ運ばれてしまいがちです。
- ◎ サザエ稚貝の餌であるシロヤシロ、アサヤシロ、ミドリなどの小型海藻が豊富にある【フコウソクストロ】
- ◎ 放流場所の沖合に成長したサザエの餌料であるホヅラワラ類が豊富にある
- ◎ サザエの成長にともなって深場へと分布域を拡大するとともに、小笠原島域外にホヅラワラ類の大型海藻も食べられるようになります。
- ◎ 一カ所に大量に種苗を放流しない
- ◎ 餌不足になり種苗の成長が悪くなるだけでなく、放流場所が破壊される場合があります。

放流時期

◎ 春～夏

深場による餌料を減らすために比較的稚やかな目が多く、サザエの成長が促進される寒温暖期（15～20mm程度では採卵の翌々年、5mm以上の種苗では採卵翌年の4～6月に放流します。

養魚取除

◎ 放流場所と養魚に集中して行う

放流された種苗によって、放流後最も着床生物に捕食されやすい時期です。着床取除は放流直前と直後（放流後1週間以内）に集中して行いましょう。また、サザエ稚貝は沖合海域を泳ぐ生物（着床生物）が多い場所には種苗を放流すると、放流場所の稚貝が少なくなり餌不足になる可能性があります。着床生物と同時に着床生物も取り除くようにしましょう。

アワビ種苗放流の手引き

令和3年6月

京都府水産事務所
京都府農林水産技術センター海洋センター

- ❌ 調査時は立会い・用船をお願いしております
- ❌ 漁業者と協働して行う調査であることをご理解願います